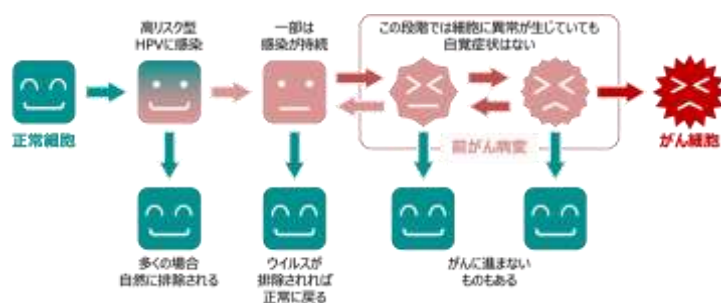


9価の子宮頸がんワクチン（シルガード9）接種について

* 子宮頸がんとは

子宮頸がんは子宮の入口付近にできるがんで、30～40代女性に好発します。日本における子宮頸がんの発症数は年間約10,000人で、死亡者数は年間約2,900人と報告されており、なかでも出産年齢のピークとなる20～30代女性における罹患率は増加傾向にあります。子宮頸がんの治療成績は向上していますが、それでも治療による後遺症や身体的・精神的負担などで苦しむ患者さんも少なくありません。例えば、前癌病変や初期のがんに対して子宮頸部円錐切除術を受けた場合、流産や早産、帝王切開のリスクが高まることがあります。また、進行癌の場合には子宮摘出が必要となり、妊娠できなくなったり、術後合併症によりリンパ浮腫や排尿障害などに悩まされることもあります。

この子宮頸がんの原因の約9割以上がヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によって起こることが明らかになっています。HPVは性交渉により感染するウイルスで、最近では性交渉年齢の早期化のため若年者の子宮頸がんが増えています。



* 子宮頸がんの予防

HPVは一度でも性交渉経験のある女性であれば80%以上の確率で生涯に感染するとされるごくあふれたウイルスです。多くの場合はHPVに感染しても自己免疫力などで回復しますが、0.1%程度の割合でHPVの持続感染により癌化することが知られています。子宮頸がんワクチンはHPV感染を防ぐことにより子宮頸がんの発症を予防することのできる非常に有効な方法です。もちろん、HPVワクチンにより子宮頸がんを100%予防できるわけではないため、HPVワクチン接種後も20歳を過ぎたら2年に1度の子宮がん検診を受け、早期発見・早期治療に努める必要があることには変わりはありませんが、子宮頸がんは「HPVワクチンによる一次予防」と「子宮がん検診による二次予防」を組み合わせることにより排除できる可能性のある疾患です。

* 子宮頸がんワクチンの安全性

HPVワクチンの安全性をめぐることは、国内で行われた2つの調査で、「HPVワクチンの接

種歴がない人でも HPV ワクチン接種後に報告されている症状（疼痛や運動障害など）と同じ症状を持つ人が一定数存在すること、「HPV ワクチンを接種した人と接種していない人との間で症状の発生する頻度に有意な差はなかったこと」が明らかになっています。WHO も「HPV ワクチンは極めて安全である」と結論づけています。

*9 価子宮頸がんワクチン「シルガード 9」

子宮頸がんワクチン「ガーダシル」が対応している 4 つの型（HPV 6/11/16/18 型）に加え、5 つの型（HPV 31/33/45/52/58 型）に対応しており、子宮頸がんの原因となる HPV 型の 88.2% をカバーできるようになりました。また、ガーダシルによる予防効果に加え、新たに追加された 5 つの HPV 型に関連した腫瘍の予防効果は 96.7% と報告されています。



他の HPV ワクチンと比べ有意に起こりやすい副反応はなく、下記のような報告があります。

- ・ 10%以上：注射部位の痛み、腫れ、赤み
- ・ 1-10%未満：発熱、注射部位のかゆみ、出血、熱っぽさ、しこり、など
- ・ 1%未満：手足の痛み、腹痛、下痢
- ・ 頻度不明：寒気、疲れ、だるさ、など

* 「シルガード 9」の接種方法

- ・ 接種対象者：9 歳以上の女性
- ・ 接種方法：筋肉注射（1 回 0.5ml）
- ・ 接種スケジュール：3 回接種 完全予約制です
 - ※ 2 回目は初回接種から 2 ヶ月後、3 回目は初回接種から 6 ヶ月後の接種となります
- ・ 接種費用：全額自費 33,000 円/回（税込み）
 - ※ ワクチン接種においては、初診料、選定療養費は不要です
 - ※ 4 価ワクチン「ガーダシル」は公費対象ですが「シルガード」は自費になります

* 「シルガード 9」接種の予約方法

完全予約制です。小児科では月曜、産婦人科では水曜・金曜の 14:00～15:00 の時間帯で受付します。

- ・対象学年：小児科では 9 歳から中学 3 年生を対象とします。産婦人科では小学 6 年生以上を対象とします。小学 6～中学 3 年生は、どちらの診療科を選択されても結構です。
- ・予約は平日の 14:00～16:00 に当院代表電話番号（092-721-0831）へお電話いただき、ご希望の診療科をお伝えください。接種を希望される日程の 1 週間以上前に予約を取るようお願いいたします。

※上記ご予約先は予約のみを承っております。「シルガード 9」の薬剤に対するお問い合わせは子宮頸がん予防情報サイト「もっと守ろう」（URL: shikyukeigan-yobo.jp）へお願いいたします。

* 「シルガード 9」接種についてご注意いただきたいこと

・「シルガード 9」の接種には、接種される方ご自身で「ワクチン Q ダイアリー」（URL: <https://www.kubonoya.or.jp/images/vaccineQdiary.pdf>）というシステムに登録していただく必要があります。これは「シルガード 9」を安心して接種していただけるよう、接種に関する記録を接種者と接種機関（主治医）が情報を共有し保管するためのシステムです。「ワクチン Q ダイアリー」の登録に当たって、スマートフォンあるいはタブレット端末と E-mail アドレスが必要となります。来院時には必ずスマートフォンあるいはタブレット端末をお持ちください。お手数をおかけいたしますが、全例登録が義務付けられておりますのでご了承ください。なお、初回受診時までには下記 QR コードより「ワクチン Q ダイアリー」をダウンロードし、必要事項を御入力いただいておりますと当日の手続きがスムーズです。ご協力をお願いいたします。登録手続きについてご不明な点がございましたら受診時にご説明いたしますので、遠慮なくスタッフへお尋ねください。

・既に 4 価ワクチン「ガーダシル」の接種を完了した方でも接種可能ですが、「ガーダシル」や「サーバリックス」など他製品の接種を開始されている方が、途中から「シルガード 9」へ変更することはできませんのでご了承ください。

・以下の方は接種を受けることができませんのでご注意ください。

- ・明らかに発熱している方（37.5℃以上）
- ・重い急性疾患にかかっている方
- ・シルガード 9 の成分によって過敏症を起こしたことがある方。
- ・その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

（接種の可否についてのご質問がある方は、医師の問診時にお尋ねください。）

子宮頸がん予防情報サイト「もっと守ろう」QRコード



ワクチンQダイアリーQRコード

